

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の日本代表選手の選出方法について

第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)について下記の通り選手の選考を行う。

I. フェンシング日本代表選手団編成方針と目標

アジア競技大会派遣にあたり、JOCが示す「TEAM JAPAN 編成方針」に準ずる。

アジア競技大会 TEAM JAPAN 編成方針

「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。

日本代表選手は、当該競技団体の責任において、国民の期待に応え得る競技力を持ち、メダルが十分に期待できる者として推薦された中から選考する。

II. 大会期間

2026年 9月22日(火)～9月27日(日)

III. 開催国

日本 愛知県 スカイ EXPO

IV. 実施種目

個人戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

団体戦：男女フルーレ、男女エペ、男女サーブル

V. 派遣種目及び出場人数(個人戦は各種目2名のみ出場)

男子フルーレ： 4名	女子フルーレ： 4名	
男子エペ： 4名	女子エペ： 4名	
男子サーブル： 4名	女子サーブル： 4名	計 24名

VI. 選考方法

各種目において、下記の選考基準に基づき個人戦出場者2名、団体戦メンバー4名(個人戦出場者2名を含む)を選考する(※選考時に日本国籍を有している選手が対象である。)

① 選考対象大会取得ポイントによる選考【2名(個人戦・団体戦)】

・選考対象大会となる、2025/2026 シーズンに開催されたワールドカップ及びグランプリ8大会中、上位6大会^{*1}の獲得ポイント合計の上位2名とする。

※1…本シーズンにおけるワールドカップ及びグランプリの内、大会の延期や中止があった

場合は選考大会数を適宜見直す。感染症、天災、地災、戦争、暴動、関係政府及び期間の規制など本協会の責に帰さない事由により該当大会の開催時期に変更が生じた場合、選考方法を見直すことができる。なお、FIE サテライト大会は当該大会選考の対象外とする。

② 強化本部からの推薦による選考【団体戦2名+リザーブ1名】

- ・アジア競技大会の競技規定上、個人戦は2名しか出場できないため、強化本部からの推薦によって団体戦要員の選手2名と正選手の怪我等で交替が必要になった際のリザーブ選手1名を選出する。
- ・2026年5月24日開催終了分が反映された選考対象大会の獲得ポイント、FIE 公式個人ランキング及び種々の要素を客観的かつ公正に判断するために用いている既存の評価システムにて判断する。

VII. 選考手順

- ・選考方法②の強化本部推薦については、3名の候補選手を選出し、評価シートを用いた評価システムにて検証を行い、団体戦出場者2名とリザーブ選手1名の最終選出を行う。
- ・本選考に則り選出された選手は、選考委員会の承認を経て、理事会での承認をもって最終決定とする。
- ・理事会での決定後、日本フェンシング協会 HP にて最終結果を公表する。
- ・各種目ヘッドコーチは、当該大会の代表選手選出に際して、選出時に怪我などで①の選手から棄権者が出た場合は獲得ポイント次点の選手を繰り上げる。選出後に怪我などで辞退する①の選手の次点が②の選出選手であった場合には、その次点の選手が個人戦に出場し、②にリザーブ選手が繰り上がる。選出時に②の選手から棄権者が出た場合はリザーブ選手を繰り上げる。上記の選手はJOCに提出する最終候補者台帳の中に入っていることを前提とする。
- ・強化本部長は、理事会での決定後に選考された選手及び当該選手の所属先に対して、代表選考の結果通知を行う。
- ・当該大会の選考対象となった選手は、選手選考に関する説明を強化本部に求めることができる。

以上